

コロナ禍における沖縄文化芸能の 現状調査アンケート

パフォーマー 編

[集計]

実施機関：2021.6.10～2021.6.30

NPO法人 沖縄イベント情報ネットワーク
公益財団法人 みらいファンド沖縄

■実施の目的

コロナ禍が続くなか、沖縄の文化芸能活動に携わる方々は「現在どのような現状にあり、どんなことで困っているのか」を調査し、その結果を沖縄県や市町村等の行政機関、および新聞等の県内メディアに提示して、補助金や基金など「文化芸能活動を続けるために必要な具体的支援」の立ち上げにつなげることを目的とする。

■実施の背景

2020年初めから、日本国内で新型コロナウイルスの感染拡大が進み、イベントの開催に影響が出始めてから1年以上が経過した。これまで沖縄イベント情報ネットワーク・篋柄暦では、沖縄のイベント情報を収集・整理・発信する活動を通じて、沖縄の文化や芸能に携わる方たちの活動を微力ながらサポートしてきたが、現在はコロナ禍でイベント自体が激減しており、それもままならない状態にある。そこで私たちは「情報発信以外にも何かできることはないか」と考え、本調査の実施を企画した。

調査結果の分析および提言は、公益財団法人 みらいファンド沖縄と共同で行う。みらいファンド沖縄は、地域の困りごとを解決するために基金を作り、個人や企業からの寄付金を届けたり、市民活動への助成を行う行政や企業に対し、助成プログラムの開発支援・協力などを行っている団体である。

沖縄の文化芸能活動に携わる方々にとって、今、そしてこれから「本当に必要な支援」とはどのようなものなのか。本アンケートを通じて「現場の声」を集め、行政機関やメディアに働きかけ、具体的な支援策につなげることを目指す。

■実施の概要

幅広い範囲の回答を得るため、3つの回答フォームを用意した。

パフォーマー編

ミュージシャン・伝統芸能の実演家・役者・ダンサー・アート作家・タレント・講師・司会者など、表舞台に立って（または人に教える立場で）文化芸能活動を行っている個人の方

スタッフ編

イベントのプロデュースや演出、舞台制作、音響、照明、撮影、レコーディング、アーティストマネジメント、広報、キュレーターなど、パフォーマーの活動やイベントをスタッフとして支える個人または団体の方

イベント施設編

ライブハウス、ホール、ギャラリー、観光施設、民謡居酒屋など、イベントを開催する施設のオーナーまたはスタッフの方

※アンケートでご回答いただいた内容は、統計データとして、特定の個人を識別できない状態に加工したうえで公表する。

※アンケートは「沖縄県内での活動」を前提に設計しているが、沖縄県外で「沖縄の文化芸能活動」を行っている方からの回答も受けた。

パフォーマー編

1) プロフィール

1-1. 回答数・回答者所在地

1-2. 年代・性別

1-3. 活動ジャンル（音楽／沖縄伝統芸能／舞台・演劇／アート／その他）

2) コロナ禍前後での経済状況の変化

2-1. 2019年と2020年のイベント開催数比較

2-2. 2019年と2020年のイベント開催数比較（県外公演）

2-3. コロナ対策の支援制度活用

2-4. 支援制度を活用しなかった理由

2-5. 今後必要な支援

3) コロナ禍前後での活動状況の変化

3-1. 収入の変化

3-2. コロナ禍の前はどのように活動

3-3. コロナ以降で働き方に変化はあったか

3-4. コロナ前後の主な収入源

3-5. 文化芸能活動以外の仕事の雇用形態

3-6. コロナ後の活動再開予定

4) 配信について

4-1. 配信経験

4-2. メリット、デメリット（別紙）

5) フリー書き込み欄（別紙）

プロフィール

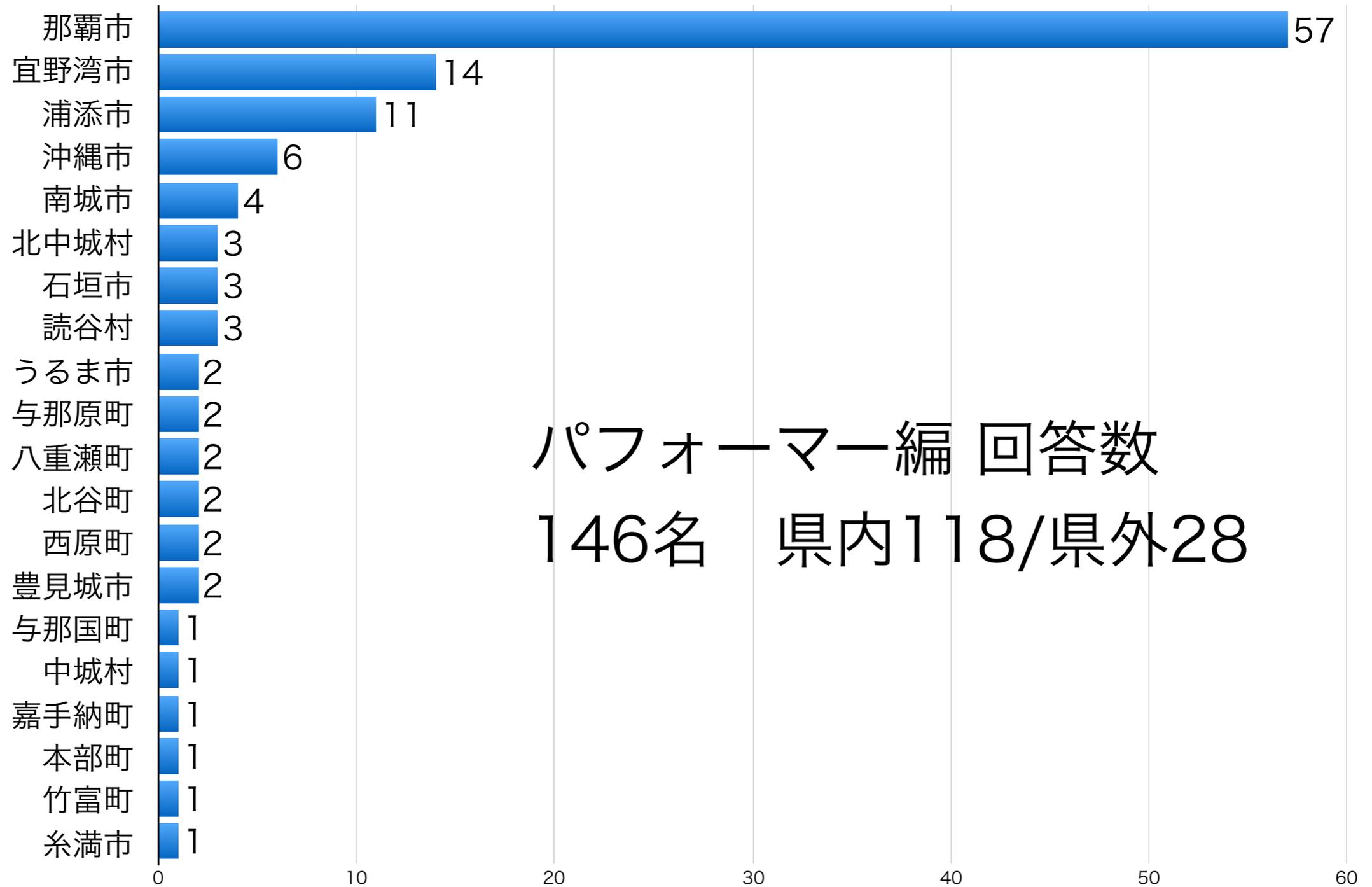
1-1. 回答数・回答者所在地

1-2. 年代・性別

1-3. 活動ジャンル

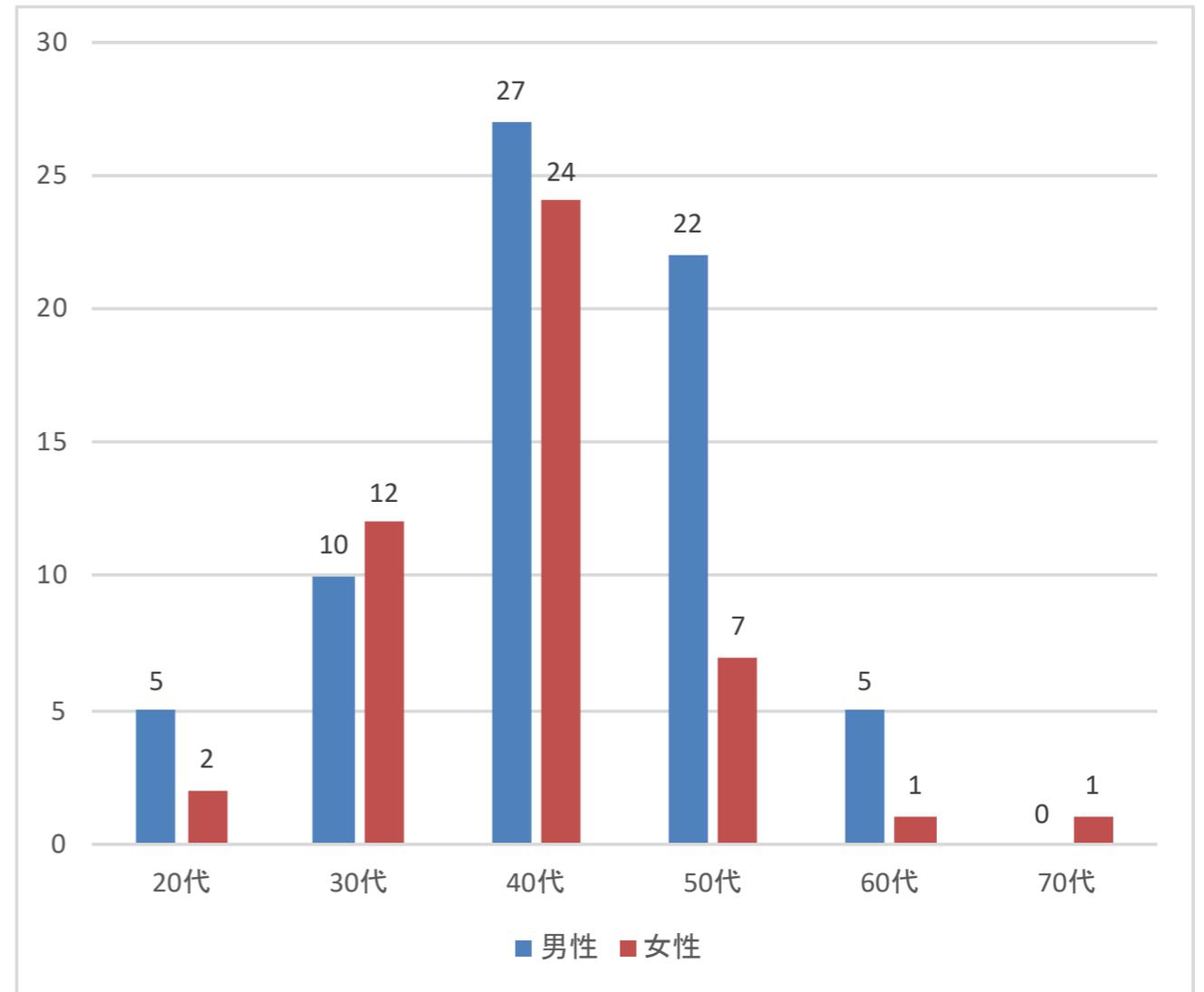
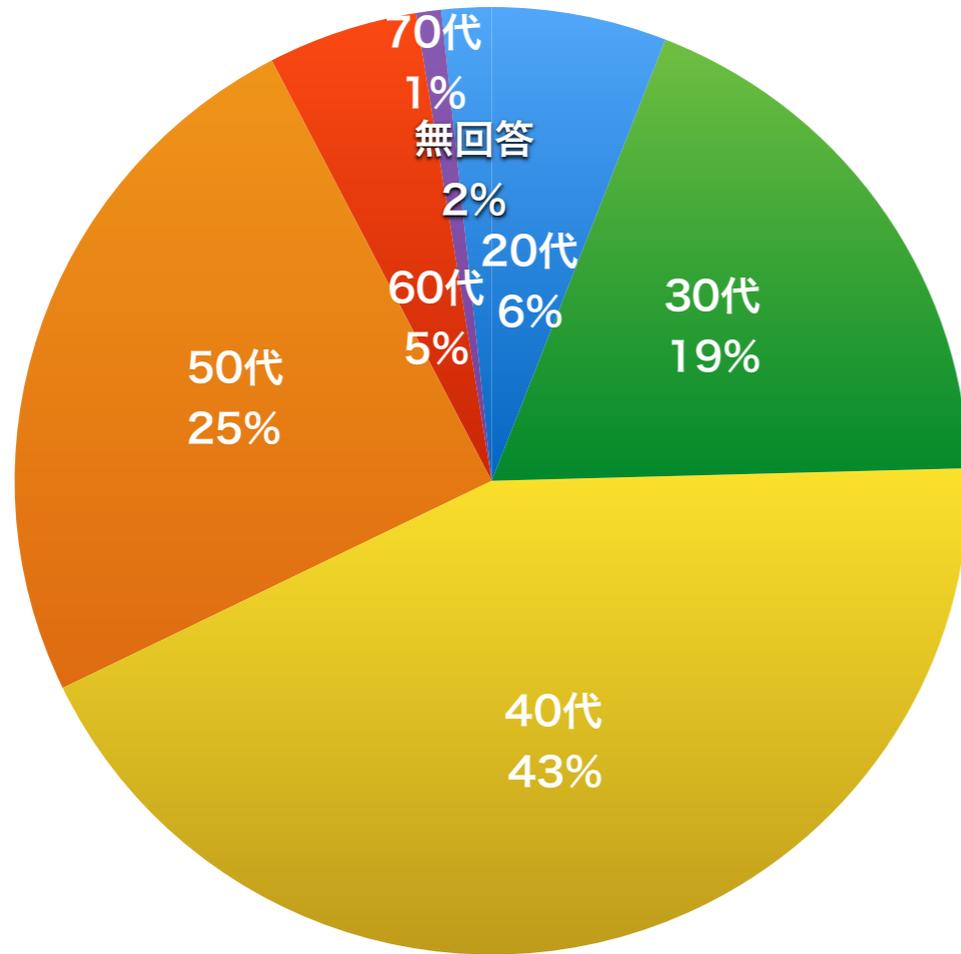
(音楽／沖縄伝統芸能／舞台・演劇／アート／その他)

1-1. 回答数・回答者所在地



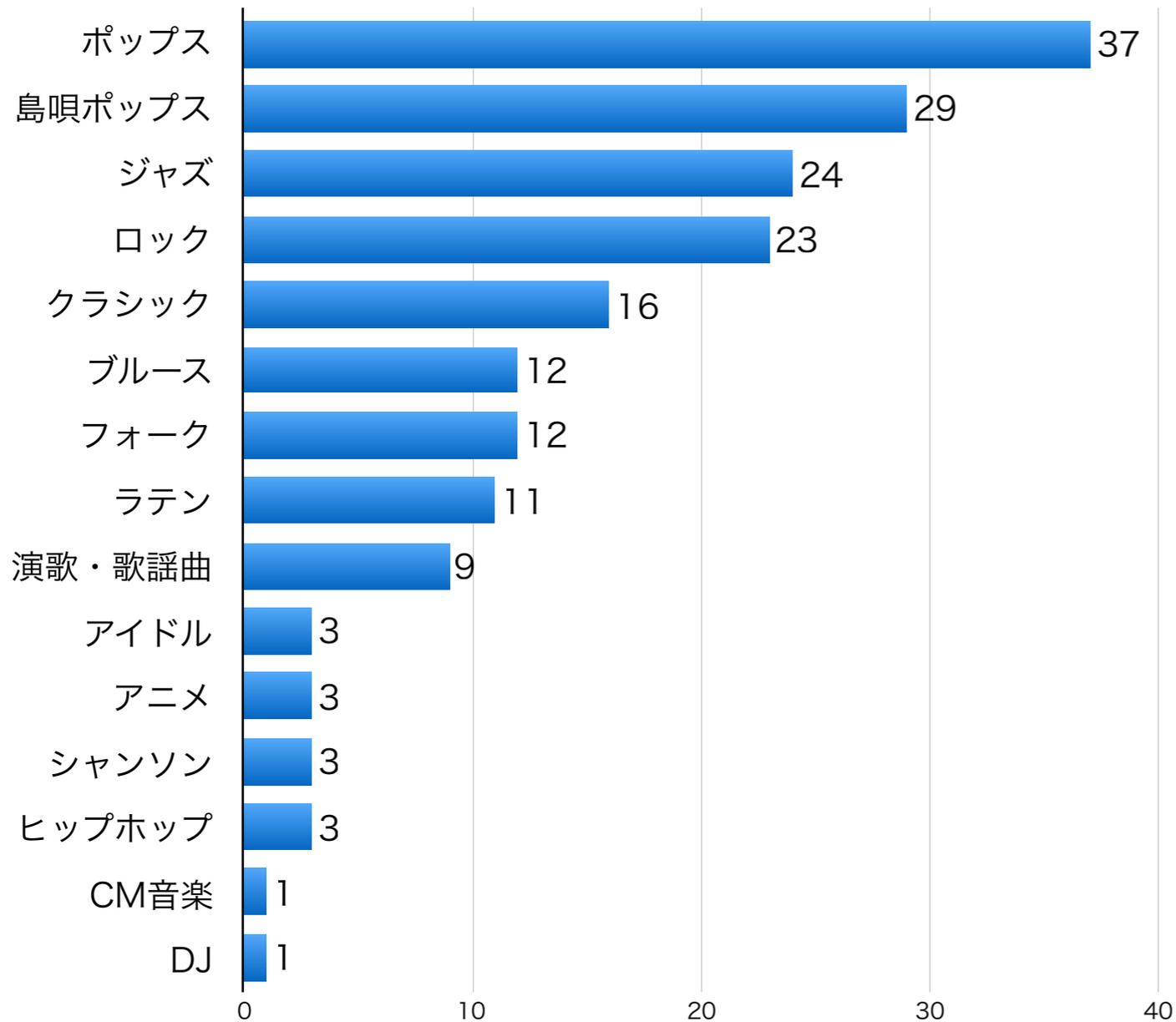
パフオーマー編 回答数
146名 県内118/県外28

1-2. 年代・性別



20代	7
30代	22
40代	51
50代	29
60代	6
70代	1
無回答	2

1-3. 活動ジャンル 音楽（沖縄民謡以外）



※その他

あらゆるジャンルの音楽、劇伴、舞台音楽

エレクトロ・ダンス・ミュージック

オキナワン ノスタルジック テクノポップ

オリジナル

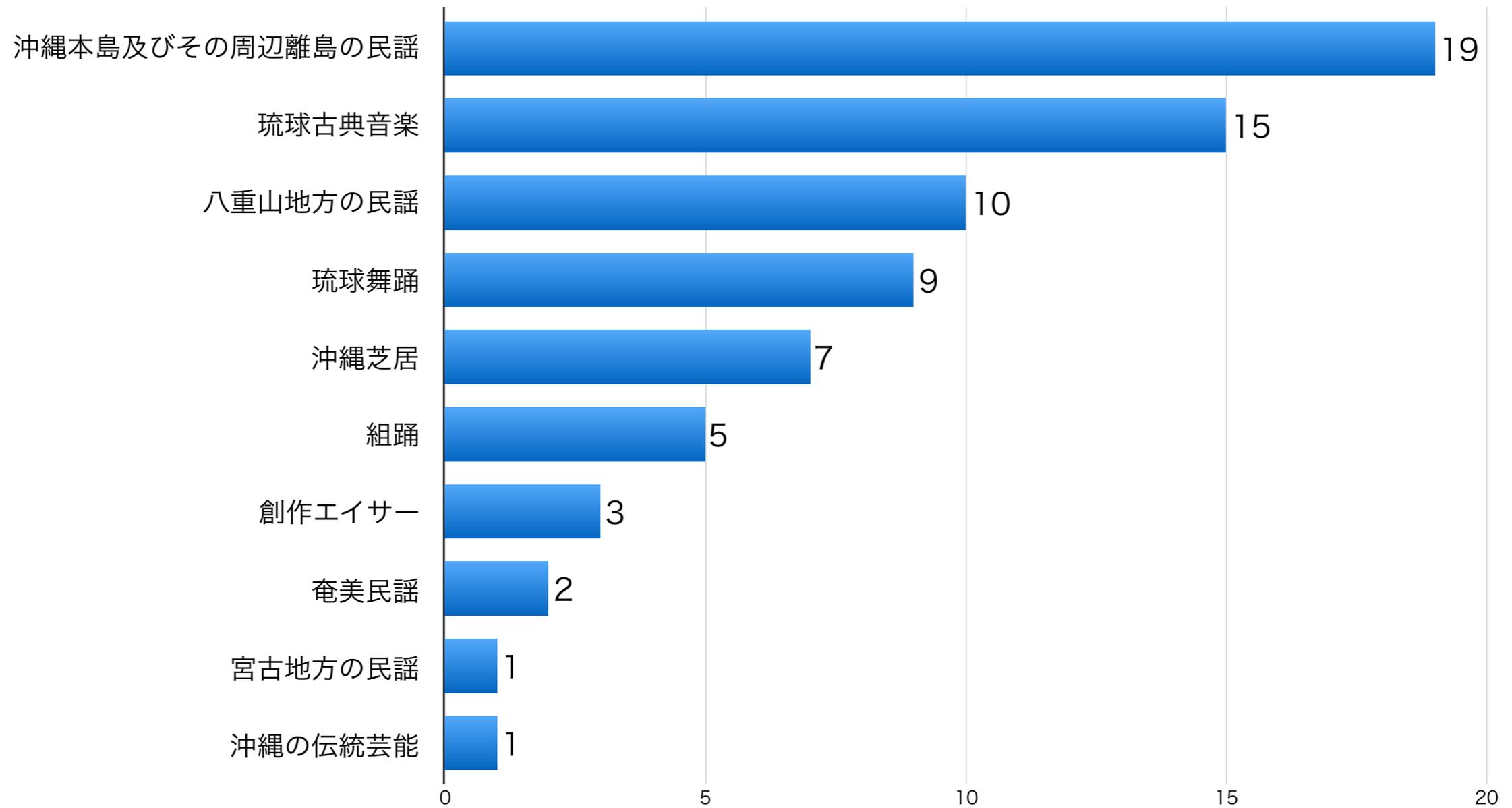
ミュージカルシアター

ワールド

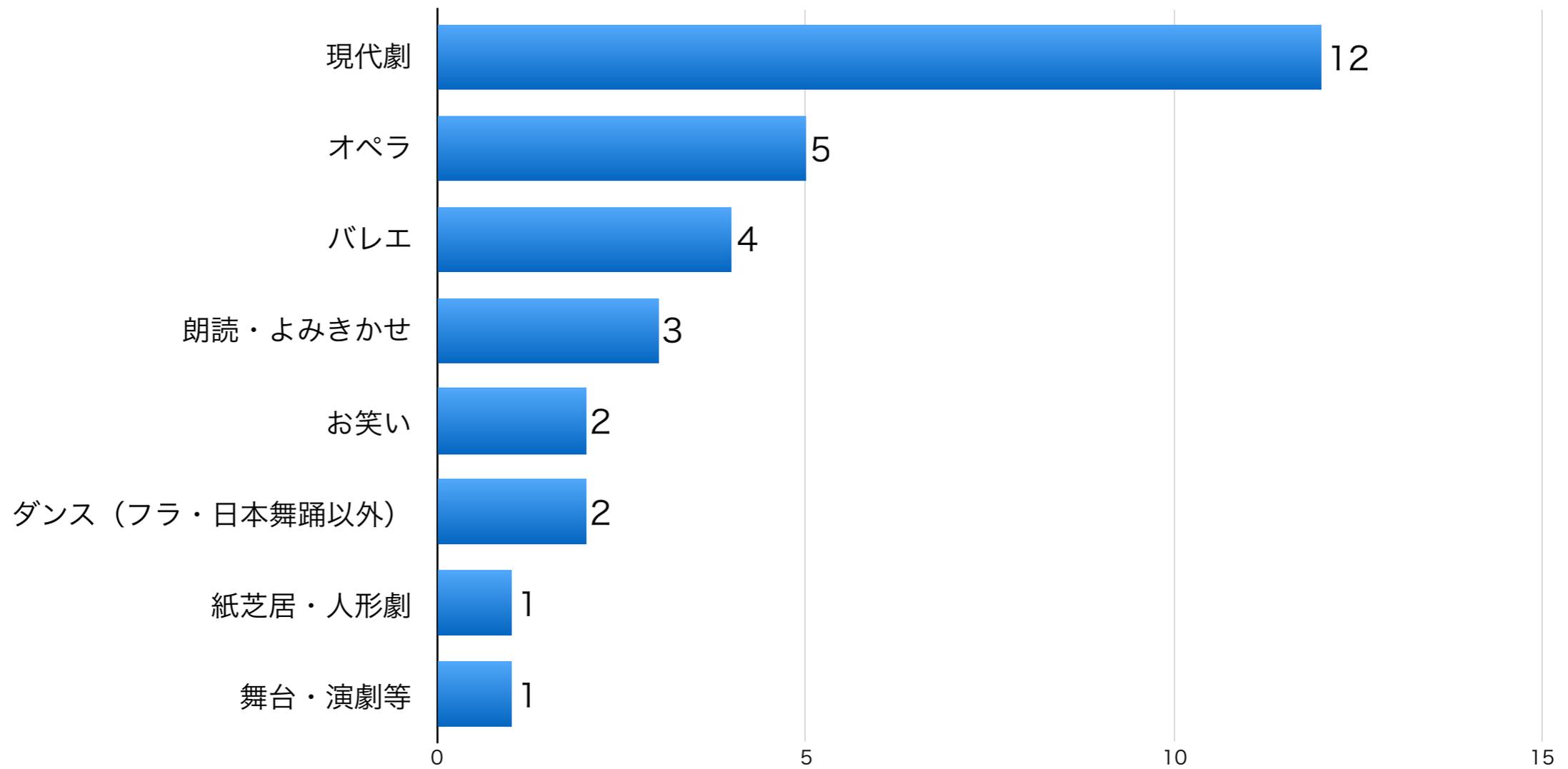
即興演奏

和太鼓奏者

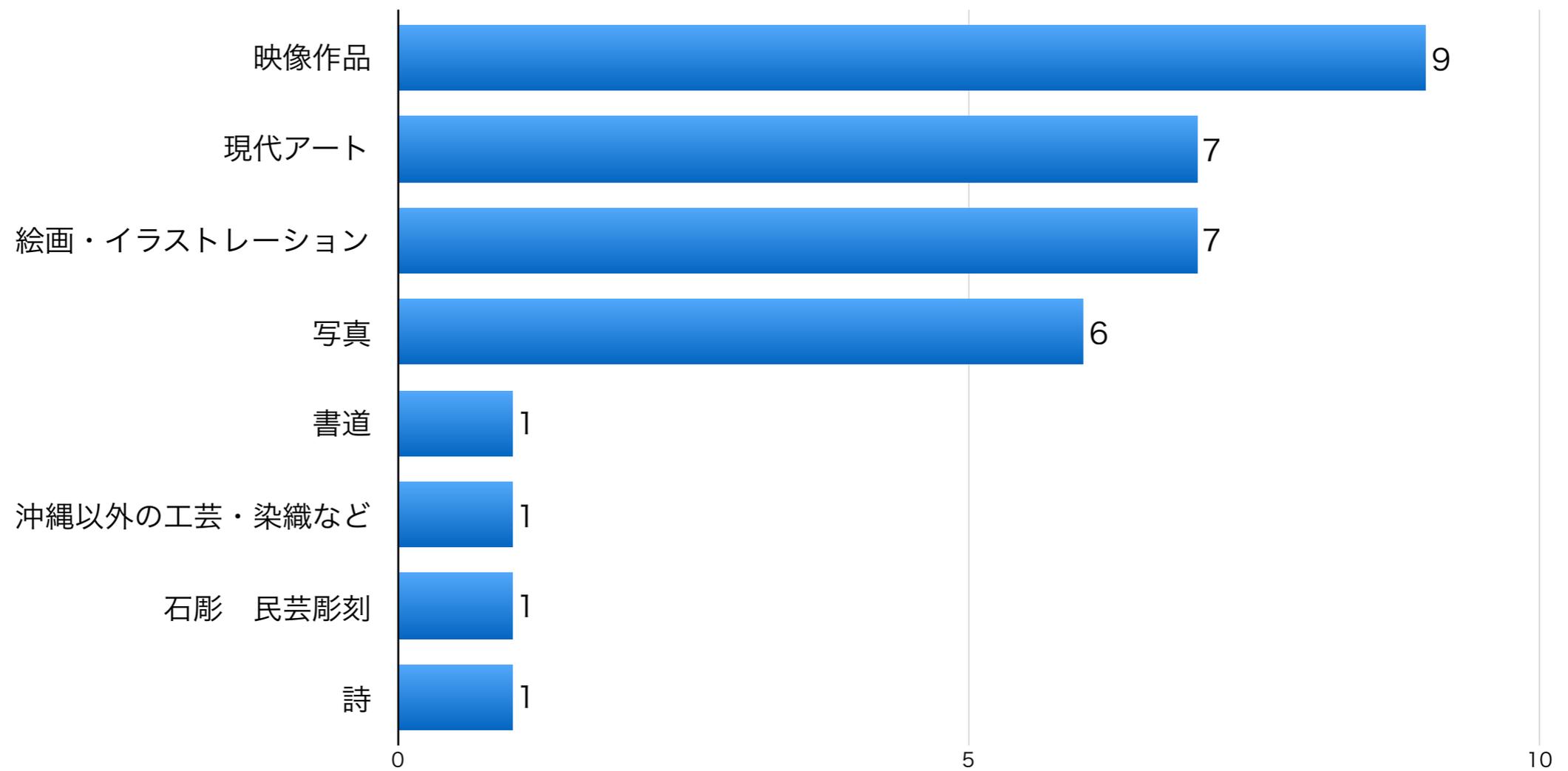
1-3. 活動ジャンル 沖縄の伝統芸能



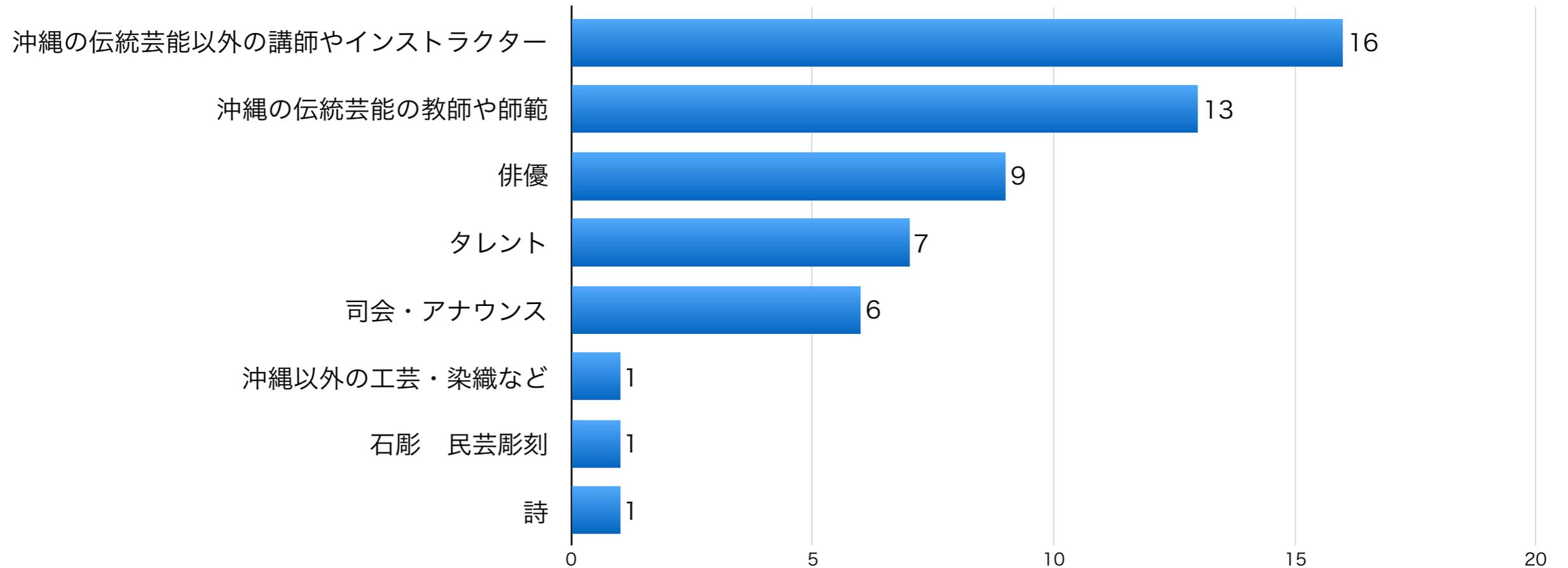
1-3. 活動ジャンル 舞台・演劇等



1-3. 活動ジャンル アート



1-3. 活動ジャンル その他（芸能活動、講師など）



※その他

ボイストレーニング教室

ラジオパーソナリティ

劇場管理

基本、仕事の依頼が来れば自分で判断してやっています

大学

映像作品の音楽制作など

コロナ禍前後での経済状況の変化

2-1. 2019年と2020年のイベント開催数比較

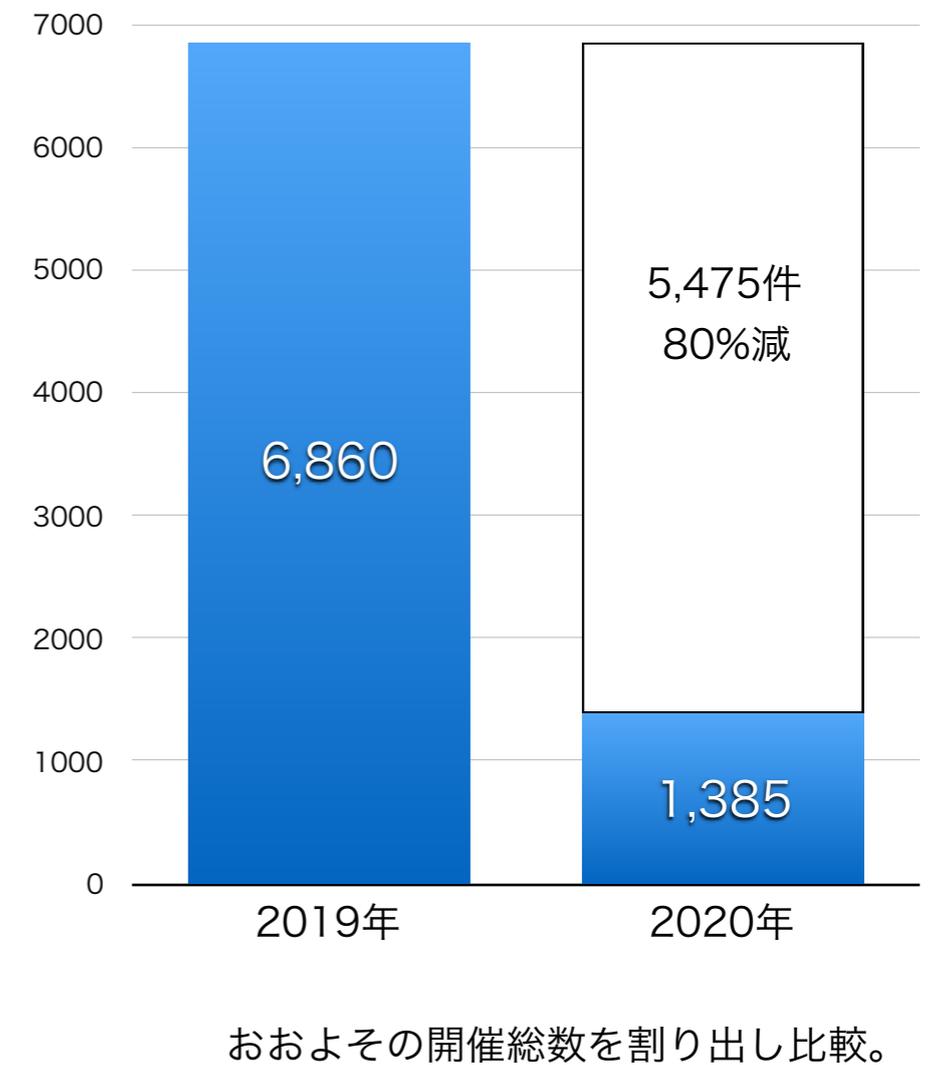
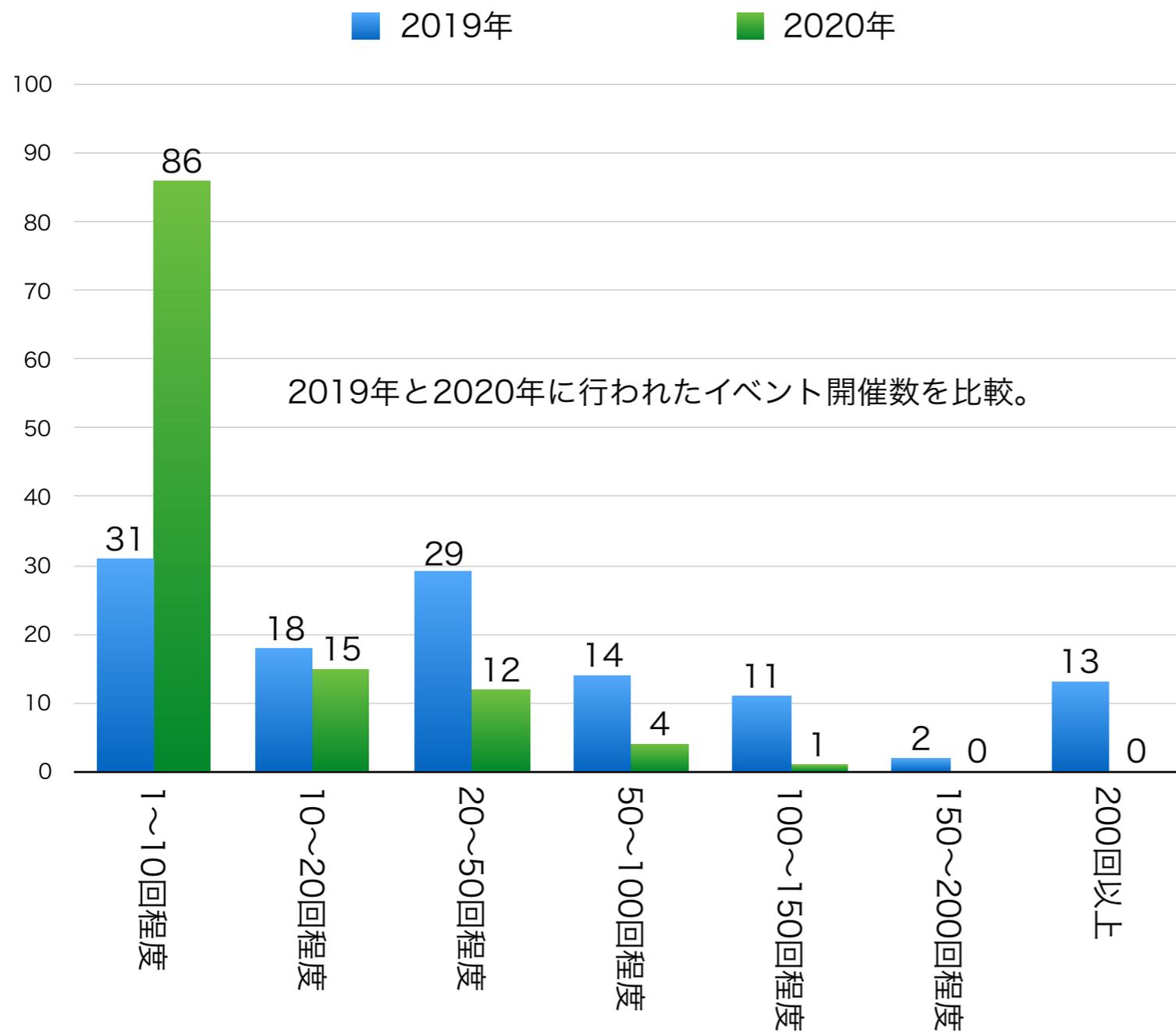
2-2. 2019年と2020年のイベント開催数比較（県外公演）

2-3. コロナ対策の支援制度活用

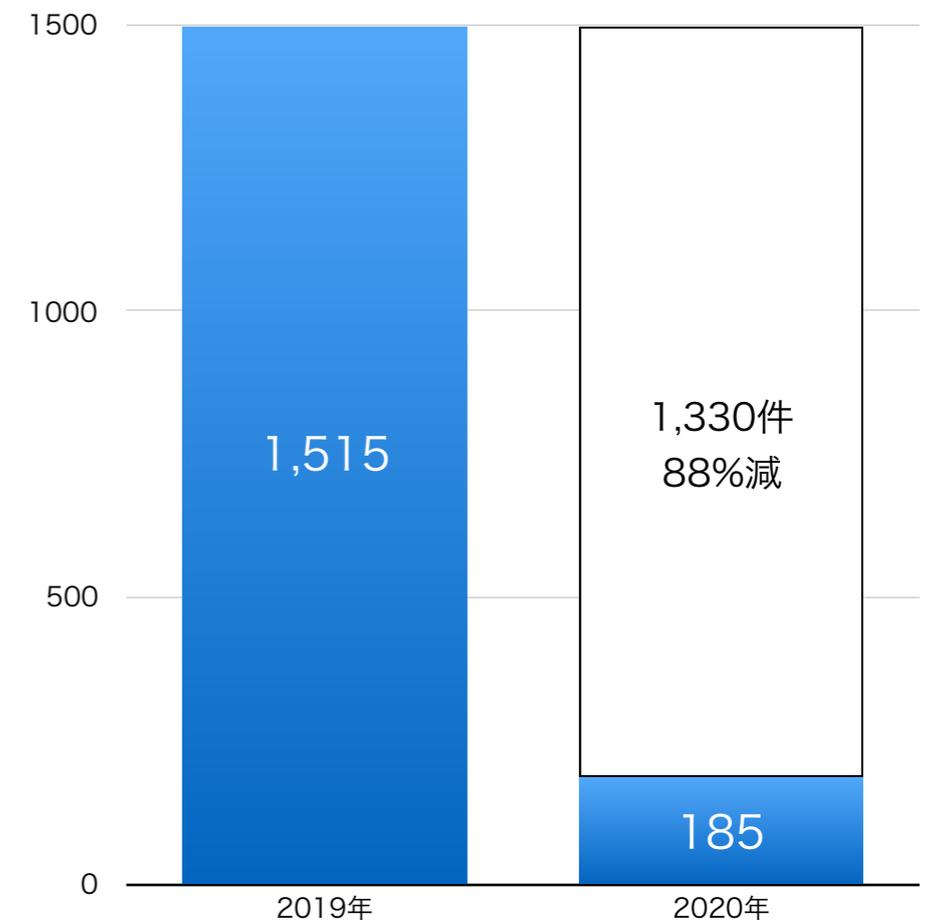
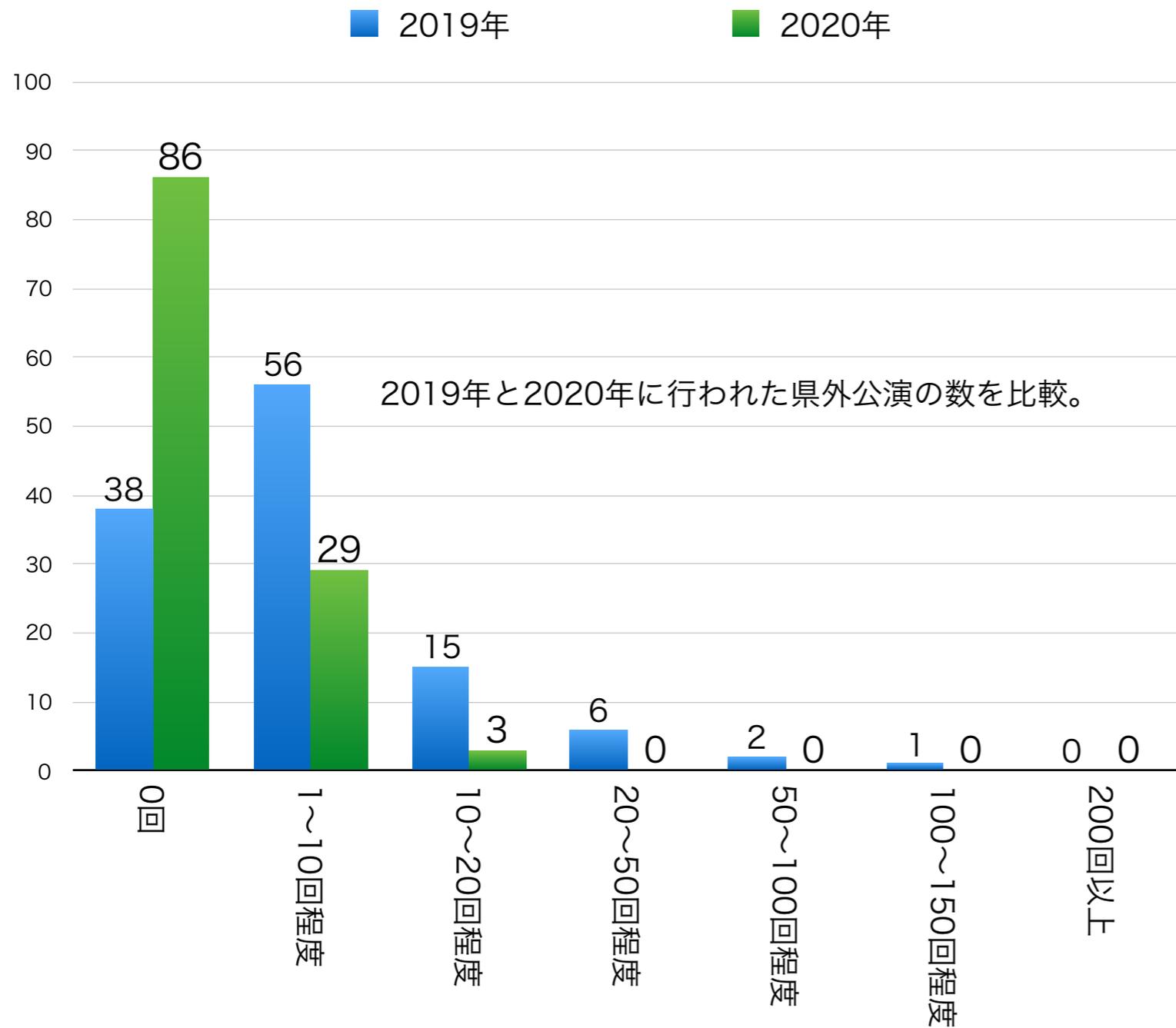
2-4. 支援制度を活用しなかった理由

2-5. 今後必要な支援

2-1. 2019年と2020年のイベント開催数比較

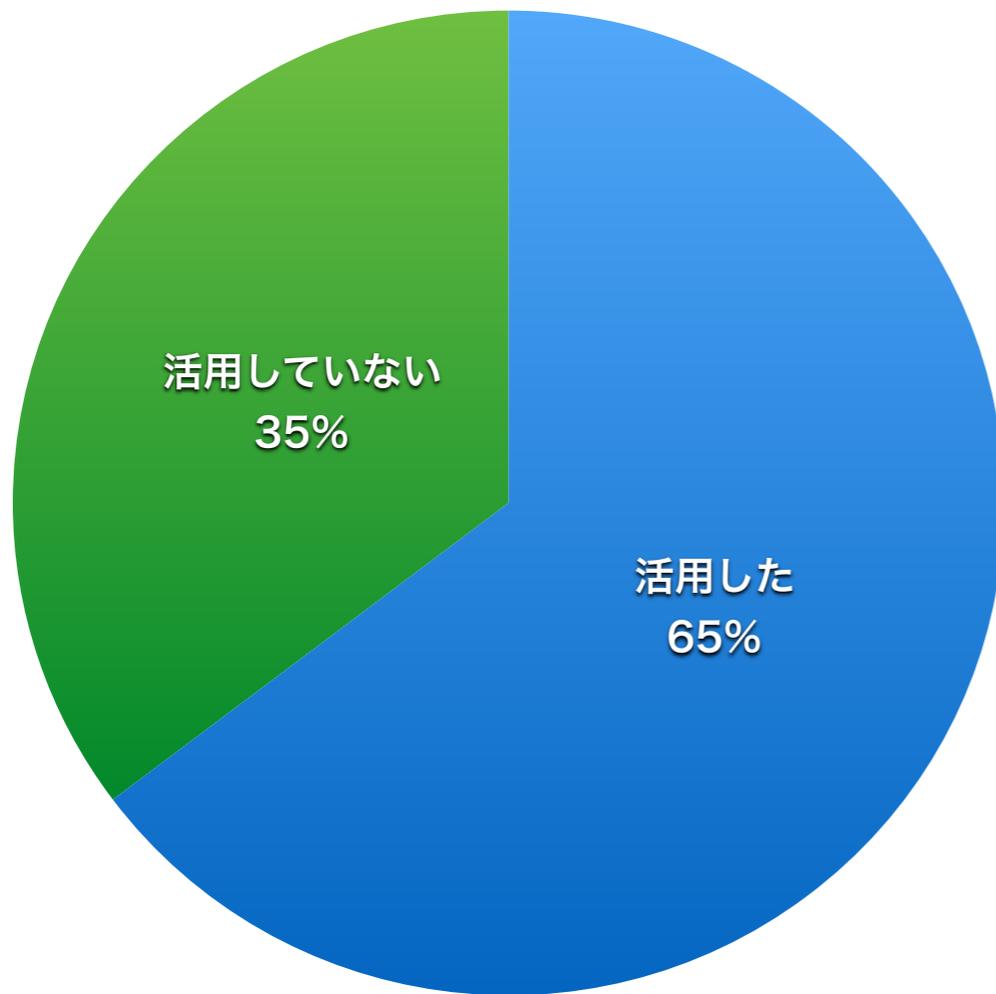


2-2. 2019年と2020年のイベント開催数比較 (県外開催)



おおよその開催総数を割り出し比較。

2-3. コロナ対策の支援制度活用



活用した	77
活用していない	42

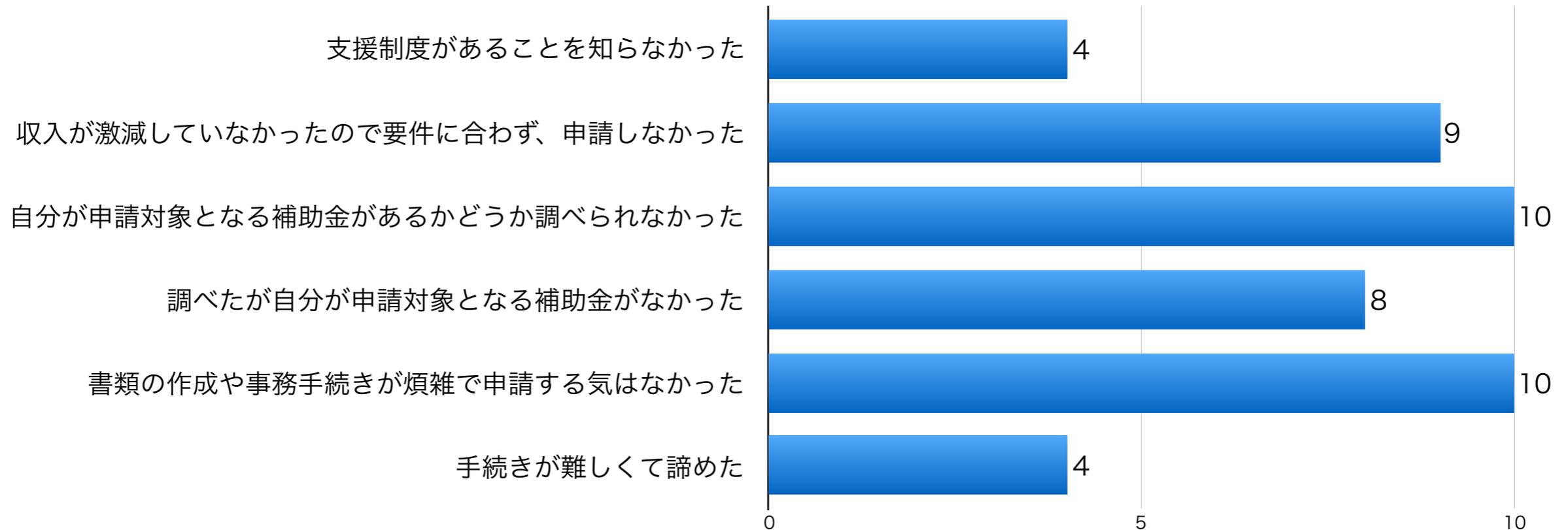
那覇市頑張る事業者応援事業給付金（那覇商工会議所） 2
 県給付金「安全・安心な島づくり応援プロジェクト奨励金」 6
 文化芸術活動の継続支援事業 | 文化庁 28
 沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業（文化振興会） 4
 沖縄文化芸術コンテンツ配信環境支援事業（文化振興課） 3
 うちなーんちゅ応援プロジェクト 1

借入（緊急小口資金 生活支援資金） 2
 一律給付金 14
 特別定額給付金 2
 家賃支援給付金 6
 持続化給付金 40
 個人事業主給付金
 雇用調整助成金 2

沖縄県協力金（稽古場閉鎖） 20万円
 沖縄県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金
 芸術家に対する支援基金
 芸術文化の補助金

パフォーマーとしての自分自身は活用していませんがサポートしているアーティストが活用し結果的に恩恵を受けた形。

2-4. 支援制度を活用しなかった理由



いざという時のために想定して貯蓄があった。

パフォーマーとしての収入はほぼゼロになったが、他の仕事での収入があったため、条件に合わず申請できなかった。

他に仕事をしている

支援制度を活用した知り合いからの演奏依頼を受けました。

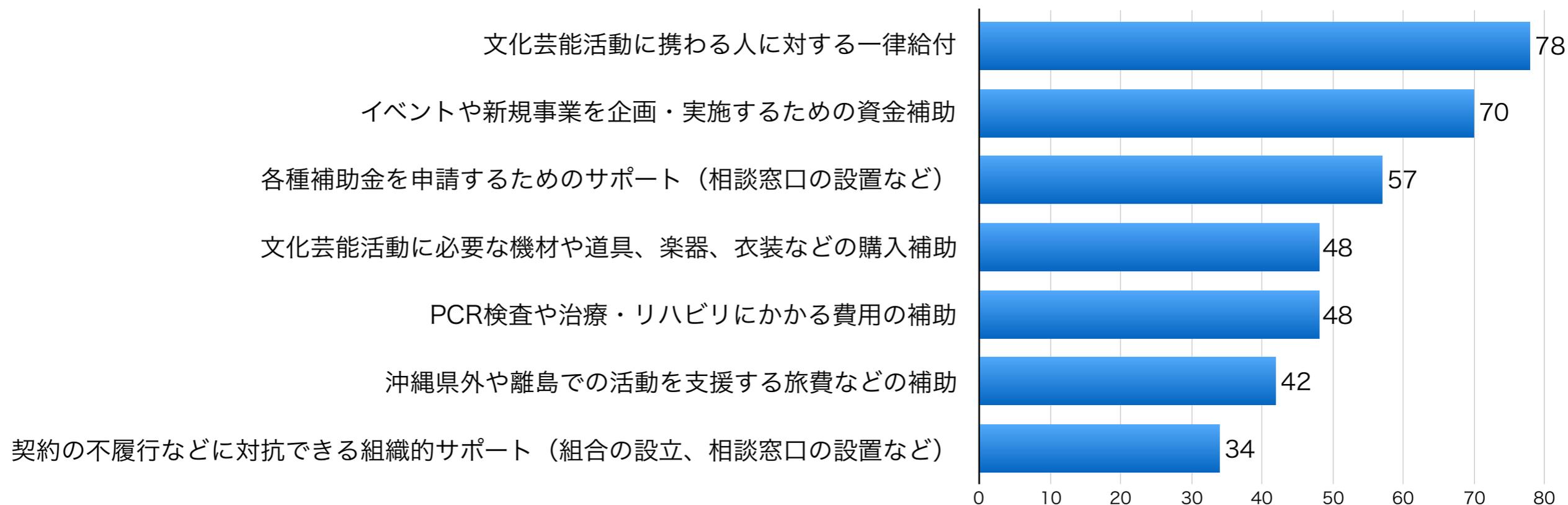
日中は芸能以外の会社勤めをしている為。

活動に特に影響がなかった

特に理由なし

申請したが、不採択 別事業も営んでおり持続化給付金は頂いた。

2-5. 今後必要な支援



ライブ配信の継続的なサポート

孤立しない取り組み。ユニオン

文化芸能活動者自身にも「芸だけで食う」ことを最良とするのではなく、「自発的で創造的な芸を発信する」ことを大切にして、生計が難しいなら別に仕事をしながら長期的持続可能なシステムを自分で構築すると意識もあっていいと思う。(それが全てとは言わないという留保付きで。)

沖縄県の支援緊急事態宣言やまん防などでドタキャンになったスケジュールに対しての支援対策。お店側からあっさり中止にされるだけで委託に関して何も無いのは不公平だと思う。

芸能に携わる人が、自身の能力を活用し収益にできる場・機会へ繋がるための支援

芸能家・アーティストの技芸維持・向上のための環境整備支援(道具衣裳ほか、体カトレーニング等費用の補助)

資金はもちろんですがエモーショナルサポートに繋がる支援も必要だと思います。

音楽家、俳優、照明家、音響エンジニア等、専門別の協同組合

コロナ禍前後での活動状況の変化

3-1. 収入の変化

3-2. コロナ禍の前はどのように活動

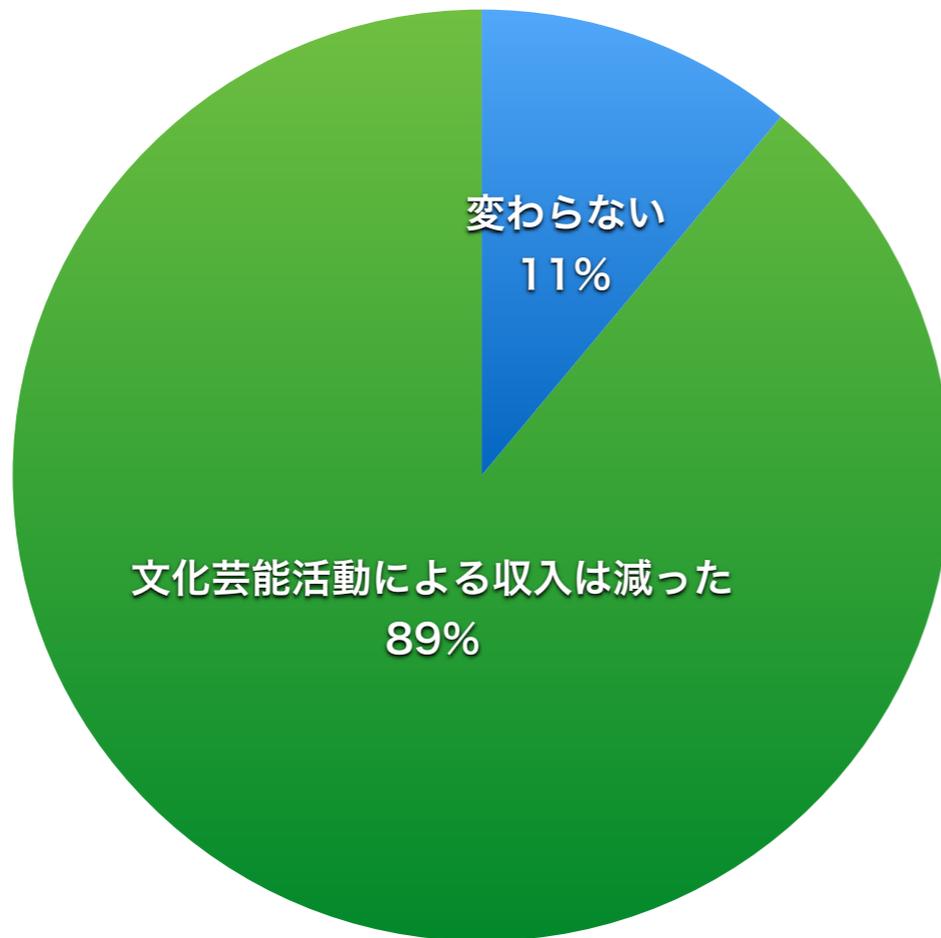
3-3. コロナ以降で働き方に変化はあったか

3-4. コロナ前後の主な収入源

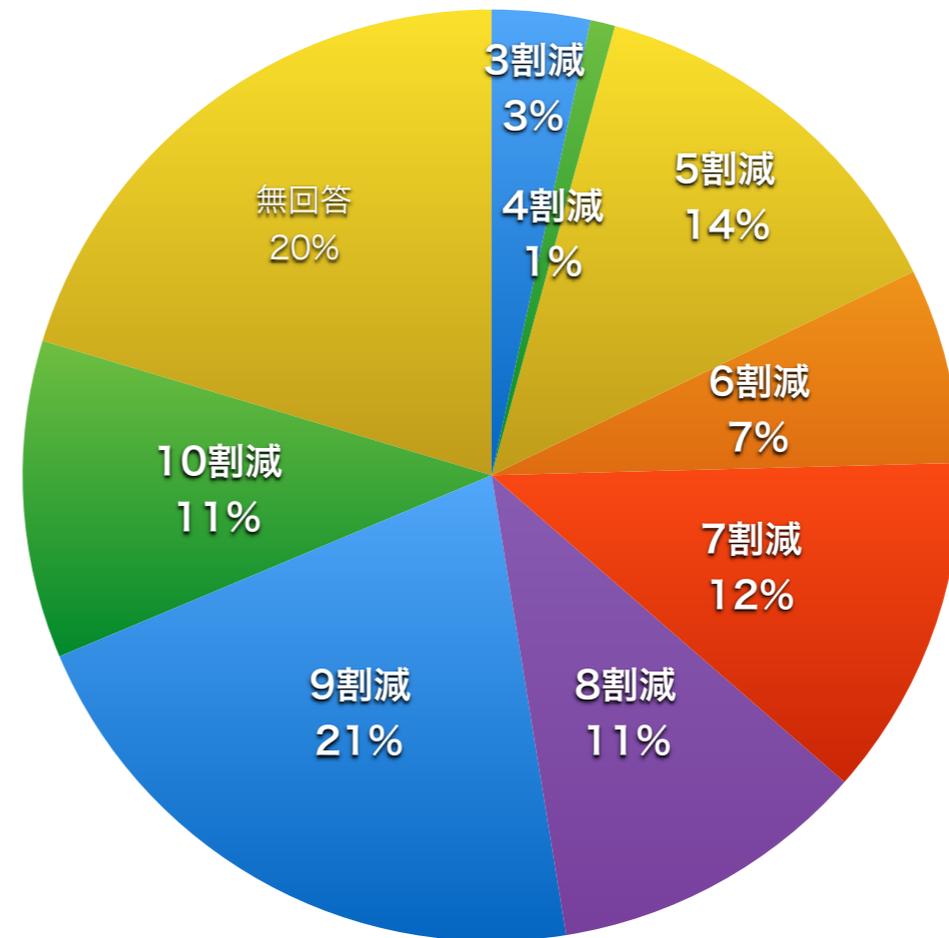
3-5. 文化芸能活動以外の仕事の雇用形態

3-6. コロナ後の活動再開予定

3-1. コロナ禍前後の収入の変化

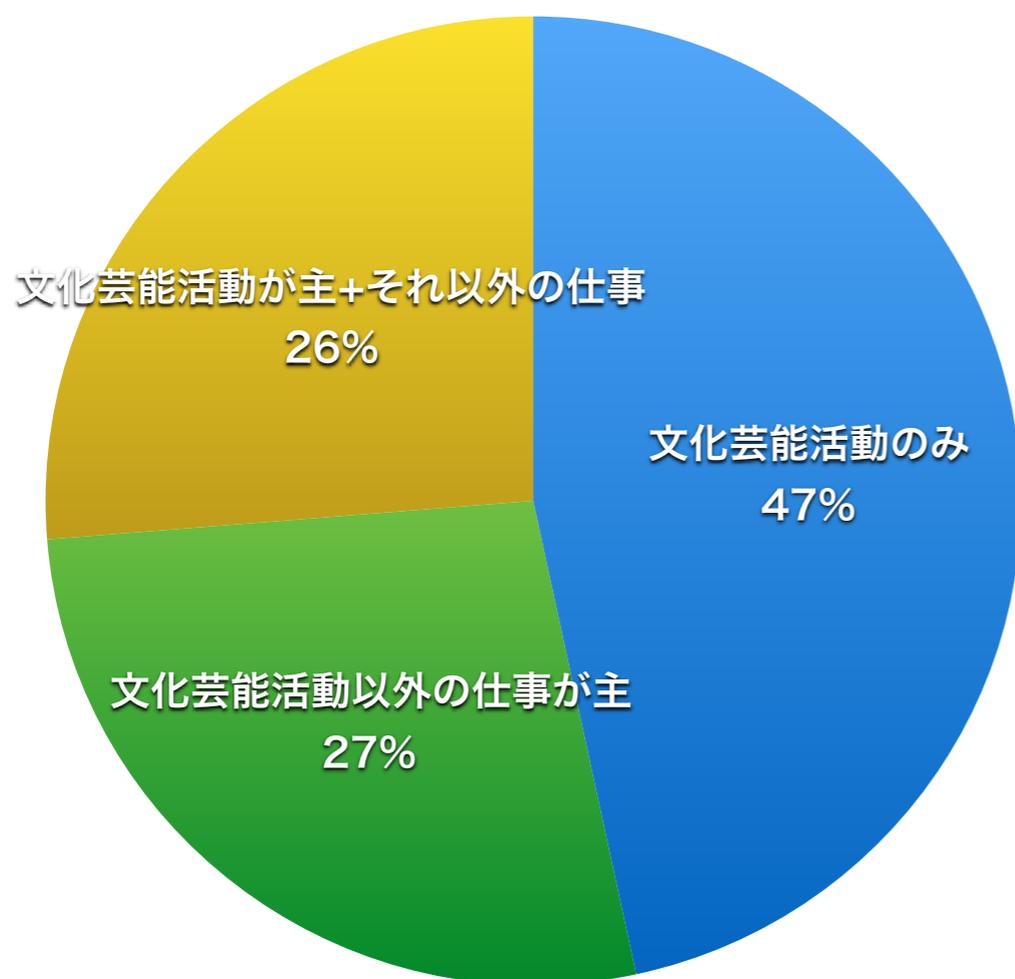


変わらない	13
収入は減った	105



3割減	4
4割減	1
5割減	16
6割減	8
7割減	14
8割減	13
9割減	25
10割減	13
無回答	24

3-2. コロナ禍の前はどのように活動していたか



文化芸能活動のみで生計を立てていた
(出演料、講師料、作品やグッズの売上など)

文化芸能活動以外の仕事为主で、
文化芸能活動は本業の空き時間に行っていた

文化芸能活動が主だがそれ以外の仕事もしていた

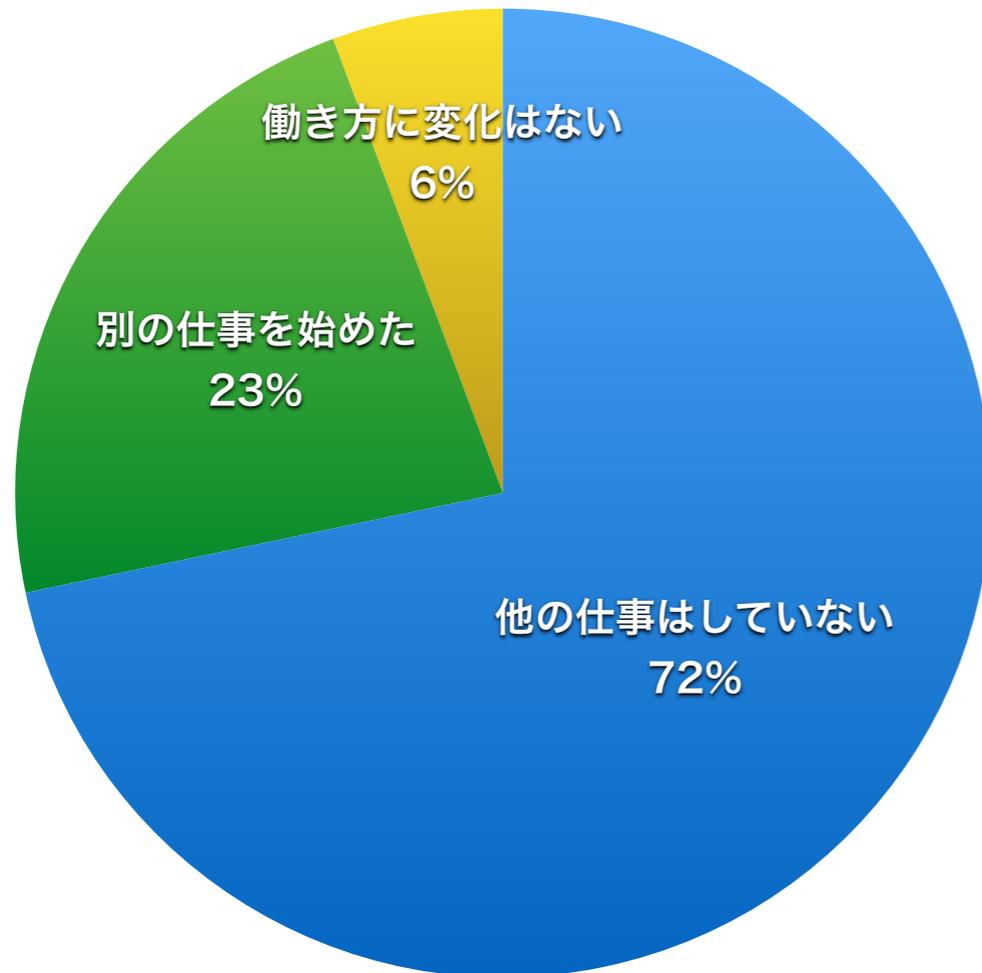
その他

どちらが主ということはなく、イーブン
バレエ指導が主で、自身の稽古や出演はその他の時間で行っていた。
ライブハウスに所属しつつ、他でも演奏者や講師として活動。

文化芸能活動のみ	55
文化芸能活動以外の仕事为主	32
文化芸能活動が主+それ以外の仕事	31

3-3. コロナ以降で働き方に変化はあったか

前質問で文化芸能活動のみで生計を立てていた人のコロナ禍での変化



コロナ後は収入が激減したが、他の仕事はしていない

コロナ後は収入が激減したので、文化芸能活動も継続しつつ、別の仕事を始めた

コロナ後も収入は変わらない（または増えた）ので働き方に変化はない

その他

コロナ禍と同時に嘱託員で働く

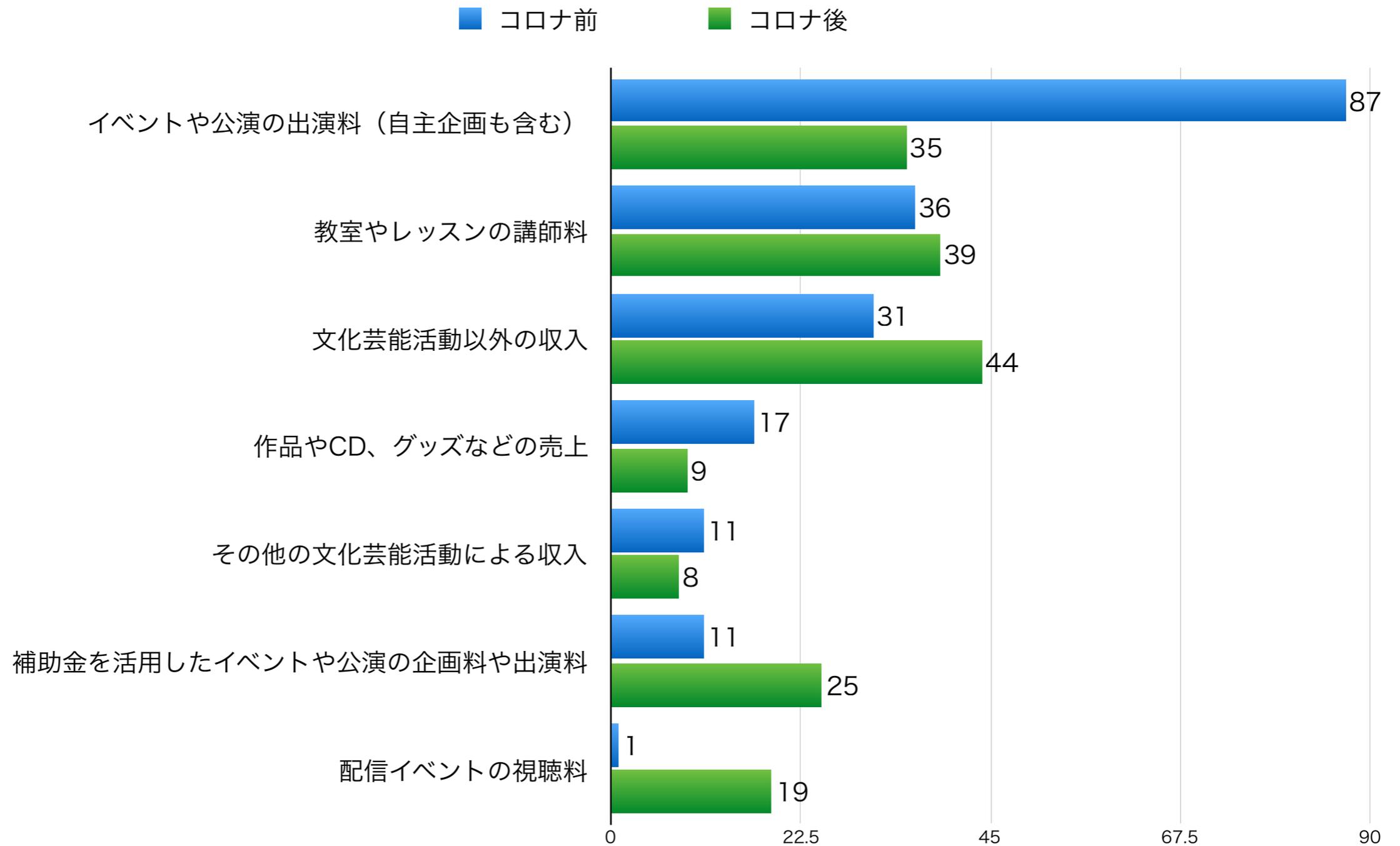
収入は減ったが、文化芸術活動を継続しつつ、他の仕事も継続していた

収入は減ったが働き方に変化は無い

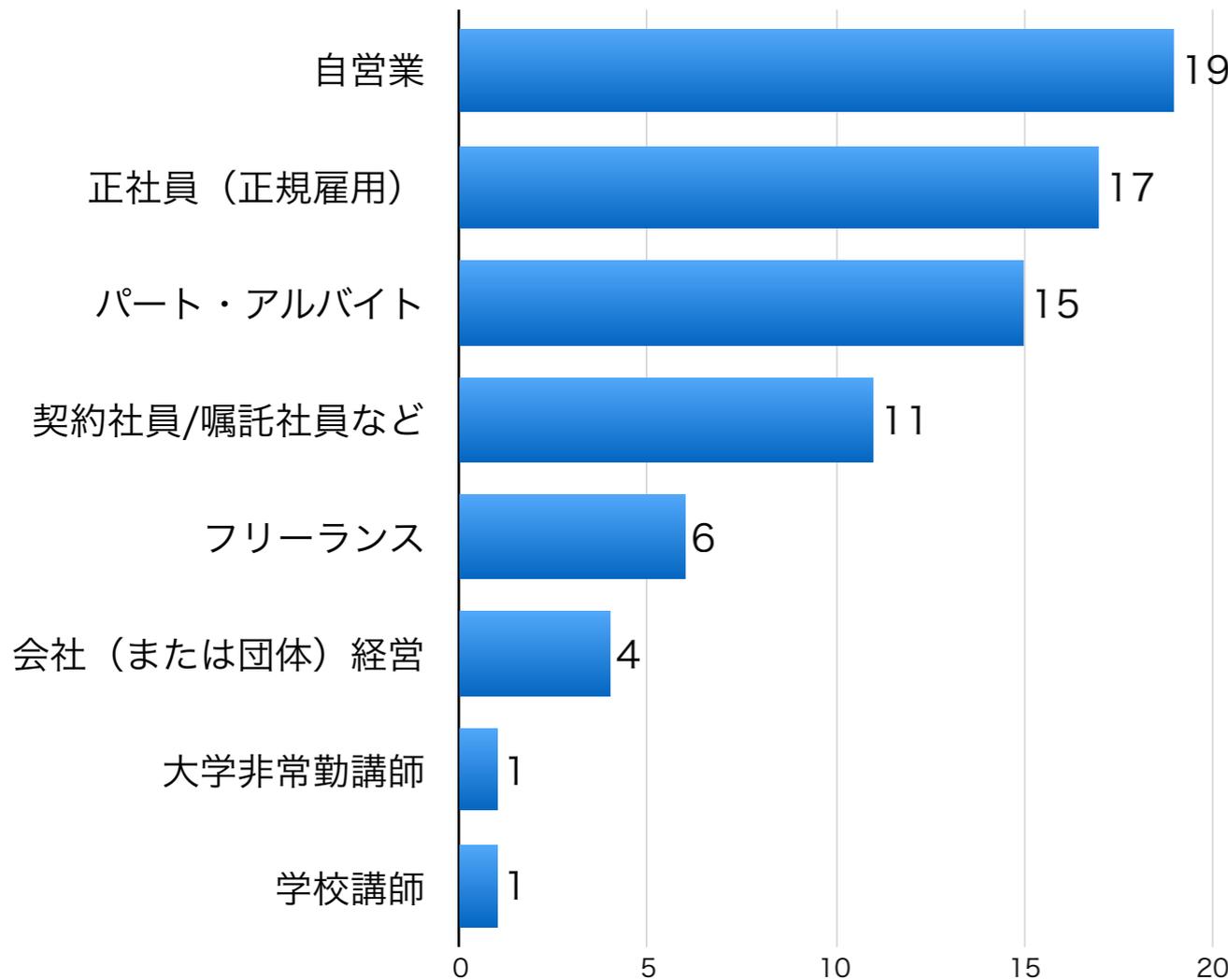
緊急小口資金や生活支援金などの借入にて凌いでいる状態

他の仕事はしていない	38
別の仕事を始めた	12
働き方に変化はない	3

3-4. コロナ禍前後の主な収入源

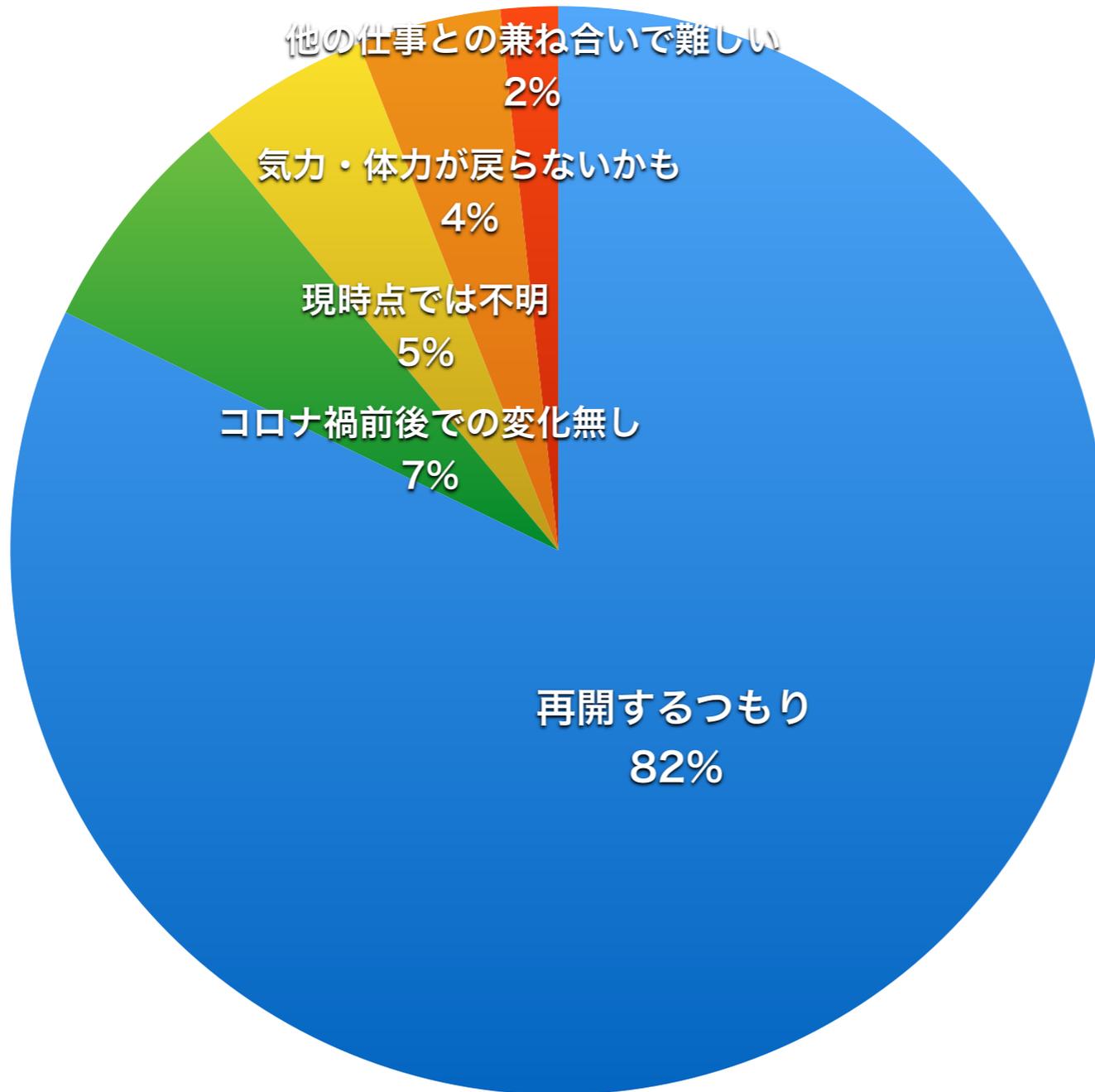


3-5. 文化芸能活動以外の仕事の雇用形態



アパレル関係/アパート経営・民宿経営/農業/アルバイト/コンビニアルバイト/コールセンター/サービス業/ライブバー/音楽療法士/アクセサリー制作/ラジオ関係/主にエンタメ系の、アプリ、ソフトウェアの受託開発 (デジタル) /事務職/介護/代替医療 骨格調整士/倉庫内作業/劇場管理/単発・日雇いのイベントスタッフや会場設営等 (単発の理由は、いつ急に出演依頼が入るか分からない、またその希望があるため) /商品の棚卸し/島唄ライブバー/広告企画制作/建築業/情報通信系企業経営/文化芸術活動のサポート/映像ディレクター/民具製造業/海運業/旅館/病院職員/空調メンテナンス/編集者/執筆業/美容写真、ブライダル業/自営業/装飾関係/観光業/設計測量/販促支援/販売員/郵便事業会社での郵便局区分作業/音響/飲食店/教員/塾講師/大学、高校非常勤講師/県立芸大教員/県立高校と専門学校音楽講師/講師、インストラクター業/楽器店、教室事業/団体職員/専門学校職員/幼稚園勤務/行政書士

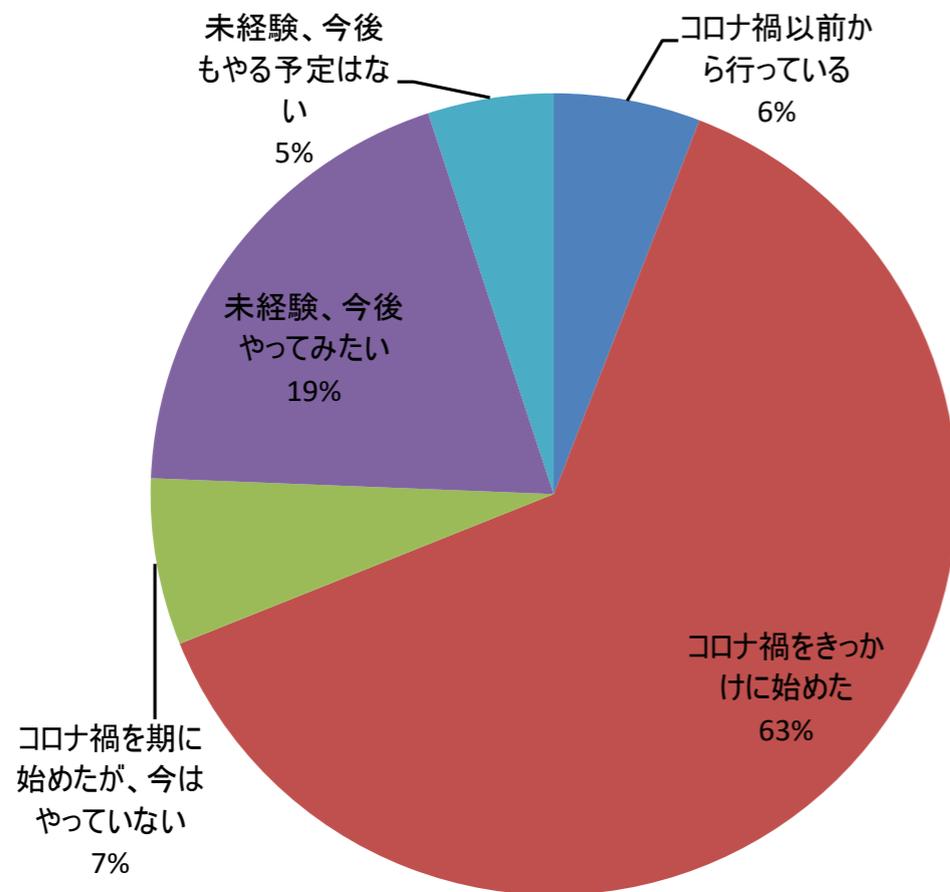
3-6. コロナ後の活動再開予定



再開するつもり	97
コロナ禍前後での変化無し	8
現時点では不明	6
気力・体力が戻らないかも	5
他の仕事との兼ね合いで難しい	2

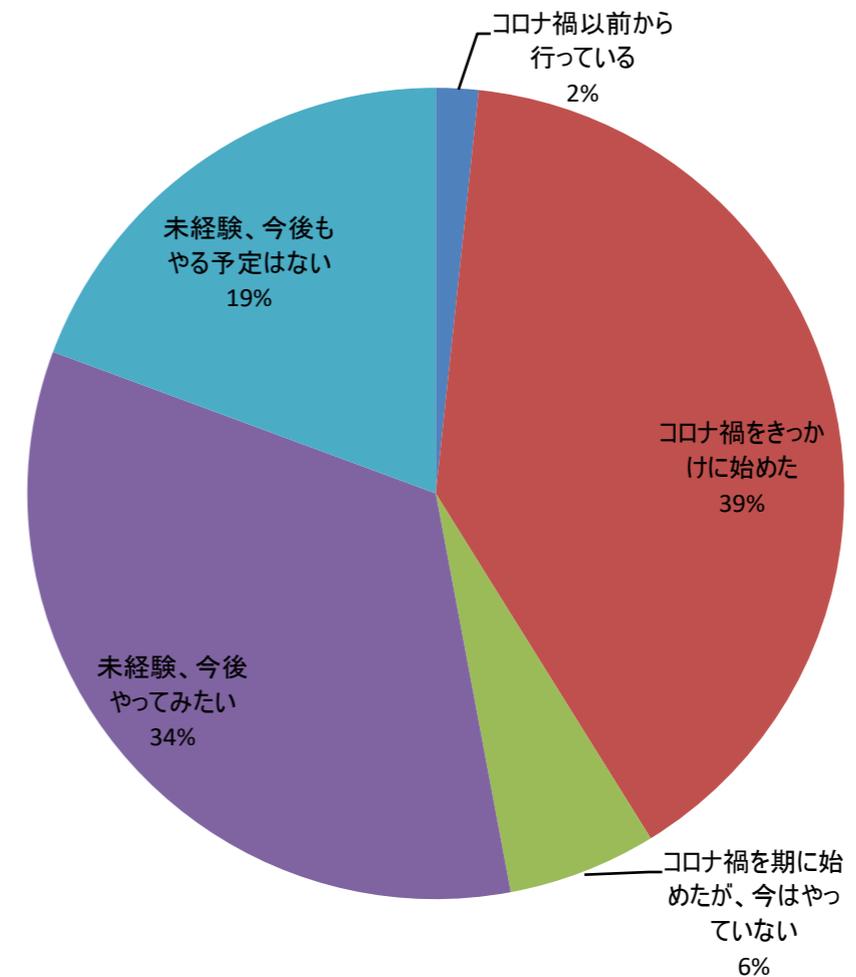
4-1. 配信経験

他者企画の配信参加



コロナ禍以前から行っている	7
コロナ禍をきっかけに始めた	75
未経験、今後やってみたい	23
コロナ禍を期に始めたが今はやっていない	8
未経験、今後やる予定はない	6

自主企画での配信



コロナ禍以前から行っている	2
コロナ禍をきっかけに始めた	47
未経験、今後やってみたい	40
コロナ禍を期に始めたが今はやっていない	7
未経験、今後やる予定はない	23

お問合せ先

NPO法人 沖縄イベント情報ネットワーク・笹柄暦編集室
担当：萩野（はぎの）

090-6857-7800 info@oein.jp

[ver.2.0 2021.9.30作成]

[ver.1.0 2021.8.10作成]